

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる。

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成31年2月8日発行

2月の主な行事

1月21日(月)～2月27日(水)

平成30年度社会教育主事講習(まなびタウンとうはく)

「平成30年度社会教育主事講習」開講中!

1月21日(月)から2月27日(水)までの38日間、琴浦町のまなびタウンとうはくで社会教育主事講習が行われています。今年度は13名(分割講習者を含む)が受講しています。この講習では、講義で法律や制度を学ぶだけでなく、演習や現地研修をとおして、地域の生涯学習コーディネーターとしての実践力を身につけ、講習後は、職場や地域で活躍していただきます。講習の様子と内容の一部を紹介します。

主会場の東京からインターネットを活用したライブ配信で講義を受けます。



コミュニケーション力をつける演習もあるよ。

社会教育主事の必要性

住民の主体的な問題意識を喚起し、多様で複雑な問題や課題を明確化して、自主的・自発的な学習を促進・援助することが社会教育主事には期待されています。実際に社会教育主事の専門性を発揮して「地域づくり」「人づくり」の中核となり、活躍している事例が多くあります。

配置率の減少が課題

市町村における社会教育主事の配置率は年々下がってきている。平成7年は89.5%に対し、平成27年は54.3%と30ポイント以上も下がっている。

(出典)社会教育調査

社会教育主事に求められる能力

◆コーディネート能力

地域の多様な専門性を有する人材や資源をうまく結びつけ、地域のチカラを引き出す能力

◆ファシリテーション能力

地域住民と対面し、意見を引き出しながら、合意形成や友好的人間関係を構築する能力

◆プレゼンテーション能力

地域住民の学習ニーズや地域づくりなどに対して、効果的な技法を使いながら、納得のいく説明をする能力

この力を使って

地域づくり

地域課題解決や地域づくりに向けた学びを支援する。

人づくり

学びの環境を醸成し、社会に参画する人材を育成する。

保護者同士の仲間づくりのきっかけに！！

～とっとい子育て親育ちプログラムより～

鳥取県教育委員会では、保護者の皆さんの学びや仲間づくりに役立つよう、保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校、地域の子育てサークルなどの各種研修会に進行役を派遣しています。

このプログラムは、正解を求めたり、無理に参加者の意見をまとめたりするものではありません。プログラムをとおして、楽しい時間を共有し、互いの思いを共感することで、それぞれが子育てを振り返ったり、家庭教育について考えたりするきっかけとすることがねらいです。来年度の活用もよろしくお願いいたします。

【参考】30年度派遣内容の例

ちゅうぶくん

～ジビエ料理～



	活用場面	内容
子供会	保護者研修会	子供のすること、なすこと とイライラお助け隊
こども園・ 保育所	子育て講座	子供との関わり方
	保護者研修会	育児のイライラの共感
小学校	PTA会員研修会	基本的な生活習慣
	学年保護者会	叱り方、褒め方 子供を 元気にする言葉
	新入生保護者説明会	保護者の期待と心配

新入学生保護者説明会で仲間づくり (平成30年2月8日小鴨小学校にて)

【概要】

会の始まりはファシリテータのアイスブレイクで和やかな雰囲気始まり、会が終わるまで、参加意識をもってワークショップに臨むことができました。入学にあたり、楽しみにしていることや心配なことを出し合い、共有することで子育てについて共に取り組もうとする大きな一歩となりました。また、小鴨公民館との連携を前面に出し、学校・家庭・地域が連携して大切な宝物である子どもたちの育成に取り組んでいくことを互いに共有するために公民館長さんや主任児童委員さんにも公民館活動の内容についてお話ししていただきました。学校や地域のねらいに沿った活動ができ、参加者の方からも好評でした。



ファシリテータが保護者同士の話し合いを進めます。

中部教育局 社会教育担当 西村信彦
 電話 0858-23-3253
 ファクシミリ 0858-23-5203
 電子メール nishimuran@pref.tottori.lg.jp